#日直接情報 日本の経典の表現 日本の経典の主要を表現 日本の経典の経典 日本の経典 日本の		山台高等専	 門学校	開講年度 令和04年度 (2	2022年度)	授業科目			
###### 00006			., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1212		3242111			
野田	科目番号	AC11311A	0006		科目区分	一般 / 必修	3		
語母学科					1				
### 上野地域会」(東京議論)				・ ・ンパス一般科目	 				
製造日標 1 世			· · · · ·	27.01.70	1				
国地域日		 対材		《合』(東京書籍)/『新詳高等地図』					
到達目標		V 1/2			(10000000000000000000000000000000000000				
世界のきままた自然規模や社会構造のよかで、人がとはどのような生活を密み、又化を育んできたのか、また、それは地球環境にどのような発達及以下しているを生殖し、説明できるようにない。 ループリック 理想的は別達レベルの目覚 特殊、経度の仕掛りを登録し、地の必要が開発します。		西	LI - 3 3X/	V (101) 12.403					
理想的人到達している。 理想的人到達した「一般性」と対象と、 理想的人到達した「一般性」と対象と、 理想的人の主義を対象を対象と、 理想の自然の特殊を含まる。 理性関係における国家の実件と、 諸国の関係できる。 理性関係における国家の実件と、 諸国のの関係できる。 理性関係における国家の実件と、 諸国家の独立で対象は変めくる問題 でして、 では、	世界のさる影響を及り	まざまな自タ ぼしている	然環境や社会 かを理解し、	会環境のなかで、人びとはどのような生説明できるようになる。	活を営み、文化を	育んできたのか、ま	また、それは地球環境にどのような		
神徳用日	<i>// /</i> :	<u> </u>		理想的な到達しべルの日安	標準的な別達しべまの日安		未到達しベルの目安		
理事項目2 開発性学における国家の要件と、 請目家の独立性物域を必くる間域 について理解し、説明できる。 グローバル化学する世界の国家 耐温性や質素・適信、交流について理解している。 プローボルルドする世界の国家 耐温性や質素・適信、交流について理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 で理解している。 を表とのままざまな場性や気候の 特別について、特徴・発生要因。 でこに至うる人々の生活を理解している。 を主に至うるような場性や気候の 対象について、特徴・発生要因。 でこに至うる人々の生活を理解している。 を主に至うるようなるが生態ない。 を主に至うるようなるが生態ない。 でに至うる人々の生活を理解している。 を主に至うるようなの生活を理解している。 を主に至うるようなるが生態ない。 が認識について理解している。 関化世界が行えるまざまな場性で気候の で変化のようながあります。 でが認識について理解している。 関化世界が行えるとまざまな地味 が認識について理解している。 関化世界が指えるとまざまな地味 が認識について理解している。 関化世界が指えるとまざまな地味 が認識について理解している。 関本についての事解がネート分で 学科の到達目標項目との関係 教育方法等 学科の到達目標項目との関係 教育方法等 大変化止気地域の関連を含く自動を での場なこれでもある。 関本のになるとのはないにできる。 関本のになるとのが表別について学習する。 地球上に最間されているさまざまなよ中をを他命合意な。 関本派について理解する。 関本派について理解する。 関本派に対している。 を記述している。 関本派に対している。 での場では、でいるさまざまなか事を能命合意な。 関本派について理解するとのはない。 を管理している。 を管理している。 でが表している。 を管理している。 でが表している。 でが表している。 では、としていて理解する。 のに、といて、といて、といて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	評価項目1			緯度・経度の仕組みを理解し、地 図の図法的特徴を踏まえた読み取	緯度・経度の仕組みを理解し、地図の図法的特徴を踏まえた読み取		緯度・経度の仕組みへの理解や地 図の図法的特徴を踏まえた読み取		
プローバルにがすする世界の国家 プローバルにがする世界の国家 プローバルにがする世界の国家 西運族や貿易・適信・交通について理解している。 西運族・関係・適信・交通について理解している。 西運族・関係・通信・交通について理解し、説明できる。 一世界している。 一世界している。 一世界している。 一世界している。 一世界している。 一世界している。 一世界に、説明できる。 一世界に、説明できる。 一世界に、説明できる。 一世界に、記明できる。 一世界に、記明できる。 一世界に、記明できる。 一世界に、記明できる。 一世界に、記明できる。 一世界に、記号・ラインの生活を理解し、説明できる。 一世界に、記号・ラインの生活を理解し、説明できる。 一世界に、記号・ラインの生活を理解していて、特徴・形成過程・そこに得らす 人の生活を理解している。 一世界に、記号・ラインの生活を理解している。 一世界に、記号・ラインの生活を理解していて、特徴・形成過程・そこに得らす 人の生活を理解し、説明できる。 現代世界が犯えるこまざまな地域・向課題について理解していて、事件に対している。 現代世界が犯えるこまざまな地域・向課題について理解し、説明できる。 現代世界が犯えるこまざまな地域・向課題について理解していて、の理解がネート分である。 現代世界が犯えるこまざまな地域・向課題について理解している。 一世界と日本における主活・文化に関する・地域的特色と共通の理理 自然要 中文的理学・大きの主意を表している。 一世界に関語していてる。 一世界が担合いた。 一世界に表している。 一世界が担合いた。 一世界に表している。 一世界の主に、できる。 一世界の主に、できる。 一世界の主に、できる。 一世界に対している。 一世界に対している。 一世界に対している。 一世界に対している。 一世界に対している。 一世界に表している。 一世界に表して、一世界に表している。 一世界に表している。	評価項目	2		現代世界における国家の要件と、諸国家の独立や領域をめぐる問題	現代世界における諸国家の独立や領	3国家の要件と、 現代世界における国家の要件と 頭域をめぐる問題 諸国家の独立や領域をめぐる問			
辞価項目4	評価項目	3		グローバル化がすすむ世界の国家 間連携や貿易・通信・交通につい	グローバル化が 間連携や貿易・	すすむ世界の国家 グローバル化がすすむ世界の 通信・交通につい 間連携や貿易・通信・交通			
理像について、特徴、発生要因、 そこに言うす人の生活を理解した。説明できる。 説明できる。 現代世界が抱えるさまざまな地域的課題について理解した。説明できる。 現代世界が抱えるさまざまな地域的課題について理解した。説明できる。 現代世界が抱えるさまざまな地域的課題について理解している。 関本では一般である。 関本では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然	評価項目4	4		、特徴・形成過程・そこに暮らす	、特徴・形成過程	程・そこに暮らす	地球上のさまざまな地形について 、特徴・形成過程・そこに暮らす 人々の生活への理解が不十分であ		
評価項目6 前課題について理解し、説明でき 類課題について理解している。	評価項目!	5		現象について、特徴・発生要因・ そこに暮らす人々の生活を理解し	現象について、特別では、	持徴・発生要因・	現象について、特徴・発生要因・ そこに暮らす人々の生活への理解		
学科の到達目標項目との関係 教育方法等 中学校地理で学んだことを基礎としながら、世界と日本における生活・文化に関する地域的特色と共通の課題、自然環境及が社会環境の関連、講地域相互の関連について学面する。地球上に関問されているさまでまな事象を統合的に見る目を養う、国際社会に生きる一貞として、多様な生活・文化の存在を認起し、他者や自動を持ち、中学の地域を支援・大きの意識を養う、教科書に基づいて過去の表し、地域を自動を変更、対象では、一般では関いた。で、もの一般教科書の記述へからを事前に読み、講義を受ける影伽をしておくこと。、事後学者:授業ノートの内容を理解した上で、もつ・度教科書の記述を読み直し、理解を求めること。わりない論などかわれば、次回の授業で間に、中間から新聞やユースなどに触れ、現在世の中で起こっている事象に関心を持つことが重要である。 世頭から新聞やユースなどに触れ、現在世の中で起こっている事象に関心を持つことが重要である。 主要な地名や用語は教養的知識として身につけることが必要となる。その際、単なる個々の単語として暗記するのではなく、他の他名との位置関係や用語の関連性に自を向けて、地理的事象について理解を深めるように心掛けること。 授業の属性・履修上の区分 「アクティブラーニング 」 ICT 利用 」 遠隔授業対応 」 実務経験のある教員による授助授業計画 「担望	評価項目(6		的課題について理解し、説明でき			的課題についての理解が不十分で		
教育方法等 中学校地理で学んだことを基礎としながら、世界と日本における生活・文化に関する地域的特色と共通の課題、自然環境及び社会環境の関連、諸地域相互の関連について学習する。地球上に展開されているさまざまな事象を統合的に見る目を養う。国際社会に生きる一員として、多様な生活・文化の存在を認識し、他者や自然環境と共生する意識を養う。対理に超らいたとで、ものというとない。大事前学習:教科書の該当人へきる事前に読み、講義を受ける準備をしておくこと。/事後学習:授業ノートの内容を理解した上で、もっ 便教科書の記述人へきる事前に読み、講義を受ける準備をしておくこと。/事後学習:授業ノートの内容を理解した上で、もっ 便教科書の記述人で読み直し、理解を深めること・わからない点などがあれば、次回の授業で買問し、早期に解決すること。 1 目頃から新聞やユー・スとに触れ、現在世の中で起こっている事事をに関いを持つことが重要である。主要な地名や用語は大義舎的知識として身につけることが必要となる。その原・神なる個々の申請として暗記するのではなく、他の地名との位置関係や用語の関連性に目を向けて、地理的事象について理解を深めるように心掛けること。 授業の属性・履修上の区分 「アクティブラーニング 「ICT 利用 「遠隔授業対応 」実務経験のある教員による授助授業計画 1 週 授業内容	学科の発	到達目標耳	頁目との関						
世学な地理で学んだことを基礎としながら、世界と日本における生活・文化に関する地域的特色と共通の課題、自然環及及び社会環境の関連、諸地域相互の関連について学習する。地球上に展開されてふるぎまざ事象を統合的に見る自を養う。国際社会に生きる一員として、多様な生活・文化の存在を認過、他者や自然環境と共生する意識を養う。 投業の進め方・方法									
授業の進め方・方法	概要		境及び社 目を養う	t会環境の関連,諸地域相互の関連につ 5。国際社会に生きる一員として,多様	いて学習する。地 な生活・文化の存	球上に展開されてい 在を認識し,他者や	いるさまざまな事象を統合的に見る や自然環境と共生する意識を養う。		
注意点	授業の進む	め方・方法	/事前学 理解した	『習:教科書の該当ページを事前に読み 上上で、もう一度教科書の記述を読み直	、講義を受ける準	備をしておくこと。	/事後学習:授業ノートの内容を		
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授誓 授業計画 □ 授業内容 □ 過ごとの到達目標 □ 博入・授業進行の説明 □ 学校基礎の確認 □ 生活文化の多様性と国際理解 (1)文化の多様性 世界の文化の多様性について考察し、異文化理解の必要性を学ぶ。 □ 生活文化と自然環境 ①地形 (1)山の生活 □ 地の生活の特性について理解する。 □ 生活文化と自然環境 ①地形 (2)河川がつくり出す地 方服 を	注意点		主要な地	2名や用語は教養的知識として身につけ	ることが必要とな	る。その際,単なる	3個々の単語として暗記するのでは		
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授誓 授業計画 □ 授業内容 □ 過ごとの到達目標 □ 博入・授業進行の説明 □ 学校基礎の確認 □ 生活文化の多様性と国際理解 (1)文化の多様性 世界の文化の多様性について考察し、異文化理解の必要性を学ぶ。 □ 生活文化と自然環境 ①地形 (1)山の生活 □ 地の生活の特性について理解する。 □ 生活文化と自然環境 ①地形 (2)河川がつくり出す地 方服 を	授業の属	属性・履何	多上の区分						
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 導入・授業進行の説明 中学校基礎の確認 1年間の授業進行について確認・理解する。 2週 生活文化の多様性と国際理解 (1)文化の多様性 世界の文化の多様性について考察し、異文化理解の必要性を学ぶ。 3週 生活文化と自然環境 ①地形 (1)山の生活 山地の生活の特性について理解する。 4週 生活文化と自然環境 ①地形 (2)河川がつくり出す地 万異なることを理解する。 5週 生活文化と自然環境 ①地形 (3)海岸地形と海辺の生 海岸地形と海辺の生活の特性について理解する。 6週 生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の気候 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 第一 生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の気候 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 8週 生活文化と自然環境 ②気候(2)熱帯・乾燥帯 気候を生み出す地球規模での大気の循環を関係をよいう気候要素によって区分したものであること、植生による気候帯分布に土壌もほぼ対応しているごとを理解する。 8週 生活文化と自然環境 ②気候(2)熱帯・乾燥帯 気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 2ndQ 10週 生活文化と自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 本語を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 「ないと自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 大きで地質を含まり、24時間動き続ける 交通やネットワークの発達により、24時間動き続ける					□ 遠隔授業対応	<u> </u>	□ 実務経験のある教員による授業		
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 導入・授業進行の説明 中学校基礎の確認 1年間の授業進行について確認・理解する。 2週 生活文化の多様性と国際理解 (1)文化の多様性 世界の文化の多様性について考察し、異文化理解の必要性を学ぶ。 3週 生活文化と自然環境 ①地形 (1)山の生活 山地の生活の特性について理解する。 4週 生活文化と自然環境 ①地形 (2)河川がつくり出す地 万異なることを理解する。 5週 生活文化と自然環境 ①地形 (3)海岸地形と海辺の生 海岸地形と海辺の生活の特性について理解する。 6週 生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の気候 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 第一 生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の気候 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 8週 生活文化と自然環境 ②気候(2)熱帯・乾燥帯 気候を生み出す地球規模での大気の循環を関係をよいう気候要素によって区分したものであること、植生による気候帯分布に土壌もほぼ対応しているごとを理解する。 8週 生活文化と自然環境 ②気候(2)熱帯・乾燥帯 気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 2ndQ 10週 生活文化と自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 本語を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 「ないと自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 大きで地質を含まり、24時間動き続ける 交通やネットワークの発達により、24時間動き続ける	超業計2	 町							
1週	J X X O I I	=	调	授業内容		调ごとの到達日煙			
中学校基礎の確認		1							
1stQ 生活文化の多様性と国際理解 (2) 宗教と習慣・文化 要性を学ぶ。 接方文化と自然環境 ①地形 (1) 山の生活 山地の生活の特性について理解する。 生活文化と自然環境 ①地形 (2) 河川がつくり出す地 河川の営力による堆積地形は河川の位置によって形態 が異なることを理解する。 生活文化と自然環境 ①地形 (3)海岸地形と海辺の生活の特性について理解する。 ケットのよる 生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の気候 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を分が植生を指標に、気温と降水量という気候要素によって区分したものであること、植生による気候等分布に土壌もほぼ対応していることを理解する。 大き大化と自然環境 ②気候(2)熱帯・乾燥帯 熱帯・乾燥帯・温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 生活文化と自然環境 ②気候(3)温帯 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 日本文化と自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 冷帯・寒帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 大き大が草にすせ即 (1)間により、地形球 交通やネットワークの発達により、24時間動き続ける	前期		1週						
1stQ 生活文化と自然環境 ①地形 (1) 山の生活 山地の生活の特性について理解する。 生活文化と自然環境 ①地形 (2) 河川がつくり出す地 河川の営力による堆積地形は河川の位置によって形態 が異なることを理解する。 生活文化と自然環境 ①地形 (3)海岸地形と海辺の生 海岸地形と海辺の生活の特性について理解する。 生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の気候 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を生み出す地球規模での大気の循環を理解する。 気候を分が植生を指標に、気温と降水量という気候要素によって区分したものであること、植生による気候帯分布に土壌もほぼ対応していることを理解する。 製帯・乾燥帯・温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 生活文化と自然環境 ②気候(3)温帯 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 生活文化と自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 冷帯・寒帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 大ちたが草にすせ用 (1)駅におい地球 交通やネットワークの発達により、24時間動き続ける									
1stQ 5週 生活文化と自然環境 ①地形 (2) 河川がつくり出す地 河川の営力による堆積地形は河川の位置によって形態が異なることを理解する。			3週	生活文化の多様性と国際理解 (2)	宗教と習慣・文化	理解する。	シンプは日・スロージはリブについて		
1stQ 形		1stQ	4週	生活文化と自然環境 ①地形(1)山の)生活 山地の生活の特性に				
前期			5週	形		河川の営力による が異なることを理	堆積地形は河川の位置によって形態 解する。		
大き大が草にませい。			6週	生活文化と自然環境 ①地形 (3)海岸 活	地形と海辺の生 				
2ndQ 10週 生活文化と自然環境 ②気候(3)温帯 ・ 紀保帯 に暮らす人々の生活を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 温帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 冷帯・寒帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らすんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らずんなの生活を理解する。 次の気候の特徴と、それぞれの気候に暮らずんなの生活を理解する。 次の生活を理解する。 次の生活を知るを知るを知る。 次の生活を知るを知るを知る。 次の生活を知る。 次の生活を知るを知るなどのまたる。 次の生活を知るなどのまたる。			7週	生活文化と自然環境 ②気候(1)世界の	の気候	気候区分が植生を指標に、気温と降水量という気候要素によって区分したものであること、植生による気候帯分布に土壌もほぼ対応していることを理解する。			
2ndQ 10週 生活文化と自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 生活を理解する。 2ndQ 10週 生活文化と自然環境 ③気候(4)冷帯・寒帯 冷帯・寒帯の気候的特徴と、それぞれの気候に暮らす人々の生活を理解する。 11週 利 たたが草にす出界 (1)駅においか時 交通やネットワークの発達により、24時間動き続ける			8週	生活文化と自然環境 ②気候(2)熱帯	・乾燥帯				
ZHUQ 10回 主点文化乙日然境境 ③ XIK(4)/P市・巻市 人々の生活を理解する。 11回 11回 11を大が草にす出用 (1)限におい地球 交通やネットワークの発達により、24時間動き続ける			9週	生活文化と自然環境 ②気候(3)温帯		温帯の気候的特徴 生活を理解する。	と、それぞれの気候に暮らす人々の		
		2ndQ	10週	生活文化と自然環境 ③気候(4)冷帯	・寒帯	人々の生活を理解	する。		
			11週	私たちが暮らす世界 (1)眠らない地球	求				

1.2版			ı					T				
13일			12週	私たち	こちか春らす世界 (2)地球と地図			地球が球体であることを確認し、球面を平面の地図に表すとさまざまなひずみが生じることを理解し、用途に応じて地図を使い分けられるようになる。地球の公転や自転によって季節や時差が生じることを理解する				
14回			13週	私たち	ちが暮らす世界	界 (3)国家の領域		、日本の領域の位置と広がりを学んで、領域に関する				
19日			14週	私たちが暮らす世界 (4)紛争				領域や宗教など、さまざまな要因によって世界中で きている紛争について学び、現代世界が抱える課題:				
19日			15週	前期	期末試験			前期に学習した内容	引について	試験をおこた	よう。	
1週 地球機関部圏 (1)大気と周洋 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1			16週					 試験の返却と解説を	行って理	解を深める。		
2년 - 神学・エネルギー同題 (1)角深をめぐる対立 信地域性をもって発現することとも観察する。			1週									
3rdQ 日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			2週	地球環境問題 (2)森林と砂漠				森林減少と砂漠化の問題と、その原因について理解す				
3rdQ 5回			3週	資源・エネルギー問題 (1)資源をめぐる対立			`る対立					
3rdQ 5回			4週	資源・エネルギー問題 (2)持続可能な資源の活力 エネルギー源の模索			資源の活用と新				[ネルギーへ	
### A 1-10-10 (2) タイトの (3) タイトの (3) タイトの (4) タ		3rdQ	5週	人口問題 (1)世界規模の人口増加				人口構成には時期的なずれがあることを地図や図表か ら理解する。主に発展途上国で起こっている人口増加				
2回 2回 2回 2回 2回 2回 2回 2回			6週	人口間	問題 (2)少子			先進国では人口の少を理解し、解決等を	子高齢化を表象する	の進行が問題	風であること	
超速			7週	食糧間	問題	先進地域と発展途上地域で 世界に飽食と飢餓の状態		_ 地域では *の状態が	は食糧供給量に格差がありが見られることを理解し、			
10週 居住・都市問題 (2)再開発 現代の日本でもよく間く再開際について、どのような 土地で、何のために行われるのかを理解する。 10週 民族問題 民族をめくる対立や紛争を学び、その解決を探る。また、世界の難民問題につてして登解する。 11週 持続可能な社会の実現をめざして 地域や地理情報システムの役割 (1)私たちの生活と地 地域、投資ではこっているさままま課題に立ち向からために、国家の枠組みを超えて活動する必要があることを理解する。 13週 地図や地理情報システムの役割 (2)地図の読み解き 地図に書かれている情報を学び、さまざまな情報を読み取れるよりの理解する。 14週 地図や地理情報システムの役割 (2)地図の読み解き 地図に書かれている情報を学び、さまざまな情報を読み取れるように発育という 地図を受える必要があることを理解する。 16週 後期期末試験の返却・解説 後期に書かれている情報を学び、きまじか では関を受える必要があることを理解する。 16週 後期期末試験の返却・解説 後期に書かれている情報を学び、きまじたい内容によって使う地図を受える必要があることを理解する。 16週 後期期末試験の返却・解説 後期に書かれている情報を学び、きまでは意をおこなう。 16週 後期期末試験の返却・解説 後期に書かれている情報を学び、きまでは意をおこなう。 16週 後期期末試験の返却・解説 後期に書かれている情報を学び、きまでは意をおさなう。 16週 後期間末試験の返却・解説 後期間を受け、では、表別したい内容によって、建物をおよることを理解する。 16週 学型内容と到達目標 型速レベル 投業週 型速レベル では、日本できる。 現代社会の特殊問題を歴史的に考察で 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	後期		8週	居住	・都市問題(市問題 (1)都市問題 な問題が発生することを学 発展途上国の都市問題と先			ことを学び 問題と先進	することに伴ってさまざま び、その対策を考察する。 進国の都市問題の違いを理		
10週 民族問題 日本の			9週	 居住・都市問題 (2)再開発				現代の日本でもよく聞く再開発について、どのような				
4thQ 11週 持続可能な社会の実現をめざして 地球規模で起こっているさまざまな課題に立ち向からために、国家の枠組みを超えて活動する必要があることを生類する。			10週			民族をめぐる対立や紛争を		P紛争を学	学び、その解決を探る。ま			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			11週	持続可能な社会の実現をめざして				地球規模で起こっているさまざまな課題に立ち向かう ために、国家の枠組みを超えて活動する必要があるこ				
13週 地図や地理情報システムの役割 (2)地図の読み解き 地図に書かれている情報を学び、さまざまな情報を読み取れるようになる。	4	4thQ	12週	地図や地理情報システムの役割 (1)対			たちの生活と地	私たちの生活のなかで、地図がどのように活用されて				
14週 地図や地理情報システムの役割 (3)テーマに沿った地 地図の図法の特性を学び、表現したい内容によって使 つ地図を変える必要があることを理解する。 後期期末試験の返却・解説 試験の返却と解説を行って理解を深める。 15週 後期期末試験の返却・解説 試験の返却と解説を行って理解を深める。 世野の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 3 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 現代社会の 現代社会の 現代社会の 現代社会の 現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活 用して探究し、その成果を論述したり討論とたりするなどの活動を通して、世界の人のが認測し共存できる持続可能な社会の実現 2 現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活 用して探究し、その成果を論述したり討論とたりするなどの活動を通して、世界の人が認測し共存できる持続可能な社会の実現 2 2 2 2 2 2 2 2 2			13週	地図な	や地理情報シス	(テムの役割 (2)地図の読み解さ 地図に書かれている情報を み取れるようになる。		る情報を学 る。	学び、さまざまな情報を読			
16週 後期期末試験の返却・解説 試験の返却と解説を行って理解を深める。			14週				地図の図法の特性を学び、表現したい内容によって使					
15週 まどめ おいの次却と解説を行うに理解を深める。 日子川コアカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容 学習内容の到達目標 理界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 3 民族、宗教、生活文化の多様性と理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。 現代社会の 現代社会の 現代社会の 表別 表別 表別 表別 表別 表別 表別 表					期末試験		後期に学習した内容について試験をおこなう。					
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学			16週					試験の返却と解説を行って理解を深める。				
世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 3 3 3 3 3 3 3 3 3	モデルコ	アカリキ	ユラムの	学習	- 内容と到達	 目標						
大文・社会 社会 社会 地理歴史的 分野 地理歴史的 分野 大文・社会 社会 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標	E C			到達レベル	授業週	
地理歴史的								ナーがせ				
大文・社会 社会 「「大型株のの一般のの一般ののでは、「「大型株のの一般ののでは、「大型株のの一般ののでは、「大型株のの一般のでは、「大型株のの一般のでは、「大型株のの一般の一般では、「大型株のの一般の一般では、「大型株の一般では、「大型体の一体では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一般では、「大型体の一体では、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一般では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、「大型体の一体では、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、						存することの重要性について考察できる。				3		
現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。		人文・社 科学	会社会))]EJ	界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察		を含む世 に考察で	2			
マルデー インス	基礎的能力				現代社会の 考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現			資料を活 どの活動 会の実現	3		
プローバリゼーション・異文化多文化理解 グローバリゼーション・異文化多文化理解 グローバリゼーション・異文化多文化理解 大化理解 大化型解析 大化型和 大化型和 <td< td=""><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け</td><td>け入れる</td><td>3</td><td></td></td<>						それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け		け入れる	3			
文化理解 文化理解 其文化の事象を自分だちの文化と関連的ける解析できる。 3 それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。 3 評価割合 授業態度 合計 総合評価割合 80 20 100 基礎的能力 60 20 80		 丁学基礎	、 ゼーシ	バリ	ノ ゼーション 多 ・異文化多	様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に		3				
課価割合 課題 試験 授業態度 総合評価割合 20 基礎的能力 60 20 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80			・共义	.化多 !解				3				
評価割合 試験 授業態度 合計 総合評価割合 80 20 100 基礎的能力 60 20 80												
試験授業態度合計総合評価割合8020100基礎的能力602080	評価割合	I	1		ı	ELUCY CERTIF		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1	1	
基礎的能力 60 20 80				試	験		授業態度 合計					
		 合		-								
專門的能力 20 0 20 20 20 20 20 20	基礎的能力			-								
	専門的能力			20			0		20			